

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	るびなすスクール駒場			
○保護者評価実施期間	令和7年7月20日 ～ 令和7年8月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	令和7年7月20日 ～ 令和7年8月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年8月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内、室外ともにスペースが広く部屋数が多い事	・スペースを有効活用したレクリエーションをおこなっている ・自由活動時間には外遊び活動を設け、メリハリある活動内容にしている ・クールダウンの部屋を設けている ・活動によってグループ別に部屋を分けて対応している	個室を活用した、個別プログラムの対応をしていく
2	運動レクリエーションや認知力をトレーニングする コグトレ、クッキングなど様々な活動を取り入れている	・遊びの中で楽しく身体を動かし、協調運動や体幹づくりの習得を目的とした運動レクリエーションをおこなっている ・視覚上の読み取り、情報処理、判断、切り替え能力向上のコグトレを目的としたレクリエーションを取り入れている ・食育の一貫でクッキングや季節おやつを提供している ・手指の巧緻性向上や想像力を養うための制作週間を毎月、設けている	好評なレクリエーションは再度取り入れ、子どもたちが楽しく参加できるレクリエーションを個別支援計画の5領域に沿ってバランスよく取り入れていく
3	大集団、小集団など活動によって、 いろいろな形態ととれること	レクリエーションの内容やその日の児童の様子によって、大集団や小集団でも対応できるように様々なケースを念頭におき、職員間で打ち合わせ情報共有し対応している	活動内容によって、形態を変えながら様々なプログラムに取り組んでいく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢や能力に応じた個別プログラムが確立していないこと	・小1～高校生と年齢層が幅広い事 ・通常級・支援級・特別支援学校とさまざまな児童、生徒が所属していること	ひとりひとり、個別課題があるため、個別支援計画にそった支援ができるように予めプログラムを用意し、日課に取り入れていく
2			
3			